

十一月十四日から十六日の間、次の件について視察を行った。

一、(株)スワン(東京都)障がい者就職支援のあり方について、自立支援法が施行されたが、現実には雇用率の低さと低賃金等、支援のあり方が問題となっている。(株)スワンはこの課題解決に取り組み、全国展開している。パンを製造し、会社を経営し、経済の自立を目指している。

会派視察報告 (創政会)

「学校に全盲の子どもが入学した」ことをきっかけに、駅にエレベーター設置の要望をするなど障がい者がやさしいまちづくり、学校づくりが進んでいる。例えば健康児と障がい児が一緒に使用できるようにという視点で学校の施設も整備されており、温かい教育環境を実感した。

「大阪府八尾市住宅マスタープラン」について、NPO団体、企業、専門家等が参画した住宅マスタープランを基本におき、空き家のデイスーパー施設利用など、住宅とまちづくりを一体的に捉え、市民ニーズに即したプランであると感じた。



(株)スワンでの行政視察

三、農地政策について(農林水産省)中長期的に世界の食糧需給の逼迫が見込まれている。国内の耕作放棄地を有効利用できるように、農地政策の改革を進めていく。①農地情報を関係機関共通のデータベースとして整備する。②耕作放棄地を諸条件に応じた対策をとりながら、五年後を目途に解消を目指す。③生産性の高い優良農地を維持・確保する。④規模拡大にコスト

二、住宅用太陽光発電システム設置補助制度について(環境省)地球温暖化防止策の一つとして、設置者を八十件、上限額を十万円としてこの三年間実施してきたが、実績は二七四件、補助金額が二、六九九万六千円となり、財政面から今後検討を要することであった。

低減等を図り、農地の面的集積を促進する。⑤農地の所有者から利用への転換を図り農地の有効利用を促進していく。

会派視察報告 (近未来21)

十一月二十一日、二十二日に北海道の行政視察を行った。

栗山町の議会基本条例は議会の改革、議会活性化策として四年半に渡る議会の熱意ある取組の結果昨年制定され、議会の議決権の拡大(基本計画等)、議会報告会開催、議員相互間の自由討論の推進、執行部の反問権など住民との協働による議会を目指すものである。地方分権時代の議会に向けて、さらに改革の必要性を感じた。

若小牧市の〇五三(セロゴミ)大作戦推進事業は「まちぐるみで考え、参加し、行動する」をめぐり五十三のこみ削減とリサイクル率を高める事業を展開していた。水切り大作戦では一回で六十グラムの減量ができる水切り容器の配布やマイバックの全戸配布など市民意識の高まりと十%こみ減量に具体的な取組みが行われており、本市に導入

したいものも多々あった。

NPO千歳人・魅力まちづくりネットワークは千歳を一人の魅力で輝くまちにするために市民活動支援を目的として設立された。「自分たちのまちは自分たちの手」という、わがまちを思う役員の皆様から参考になる話をたくさん聞け、その熱意と功績に大変感銘を受けた。



若小牧市での行政視察

議会を傍聴 しませんか。

春日市議会の定例会は、毎年3月・6月・9月・12月に開催され、必要がある場合には臨時会が招集されます。

傍聴の受付は、議場入口でおこなっています。受付簿に住所・氏名を記入して、傍聴席にお入りください。

三月定例会 会期日程の予定

- 三日 本会議(議案の上程、提案理由の説明、議案の考案)
- 四日 休会(議案の考案)
- 五日 休会(議案の考案)
- 六日 本会議(議案質疑、委員会付託)
- 七日 予算審査特別委員会、議会運営委員会(議案審査)
- 八日 休会(閉庁)
- 九日 休会(閉庁)
- 十日 各常任委員会(議案審査)
- 十一日 予算審査特別委員会、議会運営委員会(議案審査)
- 十二日 本会議(一般質問)
- 十三日 本会議(一般質問)
- 十四日 各常任委員会(議案審査)
- 十五日 休会(閉庁)
- 十六日 休会(閉庁)
- 十七日 予算審査特別委員会
- 十八日 予算審査特別委員会
- 十九日 各常任委員会(採決)
- 二十日 休会(閉庁)
- 二十一日 予算審査特別委員会
- 二十二日 休会(閉庁)
- 二十三日 休会(閉庁)
- 二十四日 議会運営委員会
- 二十五日 各常任委員会閉会中の調査事件の調整等
- 本会議(委員長報告、質疑討論、採決)

都合により変更になる場合があります。